気象総合プラットフォーム

ZEROSAI X-AI

気象観測装置

（AC100V仕様）

撤去要領書

（２０２６年２月）

気象庁予報業務許可 第51号

System & Meteorology

シスメット株式会社

撤去方法(伝送装置)

①伝送装置の電源をきります。





ランプが消灯し、
スイッチは〇側(オフ)になって
いることを確認してください。

また、感電・漏電による事故を防ぐため、電源プラグも抜いてください。

②伝送装置から、主電源ケーブルと風向風速計のケーブルを取り外します。

伝送装置の下部に接続されているケーブルを外します。
カバー矢印の方向に回し、完全に緩めて外してからケーブルを抜きとります。



※主電源ケーブルと風向風速計ケーブルどちらも同様の手順で取り外します。

③伝送装置から雨量計ケーブルを取り外します。

コネクタ部のカバーを矢印の方向に回しながらケーブルを抜き取ります。



③単管から伝送装置を取り外します。

伝送装置の背面２か所を固定しているクランプをラチェットレンチ(17mm)と使用して外します。



④伝送装置の撤去完了です。



Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.

撤去方法(風向風速計)



風向風速計

続いて、風向風速計を外します。

※ラチェットレンチ(17mm)をご用意ください。



①単管から、風向風速計を取り外します。

風向風速計の下部が専用クランプで固定されているので、
ラチェットレンチを使用して取り外してください。
単管から取り外すだけで、風向風速計本体にクランプは
つけたままでかまいません。

注意 高い場所に設置されていますので、
転落・落下には十分ご注意ください。

※風向風速計を固定しているクランプは専用のものです。
必ず返却してください。



④風向風速計の撤去完了です。

ケーブル・アース線・クランプは取り付けたまま梱
包できます。
専用の緩衝材を使用して梱包してください。



Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.

撤去方法(雨量計)



続いて、雨量計を外します。

※外す際は、ラチェットレンチ(17mm)をご用意ください。



①雨量計をステーごと単管から取り外します。



雨量計ステーのクランプをラチェットレンチで緩め、単管から取り外します。
雨量計とステーは取り外さずに、そのままにしておきます。

注意 雨量計は精密機械です。
取り外しの際は、雨量計を身体や地面に落とさないように注意してください。

②雨量計ケーブルを収納します。

雨量計上部のゴミ受け網の上にケーブルをまとめて収納します。





③雨量計の撤去完了です。



Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.

気象総合プラットフォーム

ZEROSAI X-AI（クロス）

気象観測装置

（AC100V仕様）

梱包要領書

（２０２６年２月）

気象庁予報業務許可 第51号

System & Meteorology

シスメット株式会社

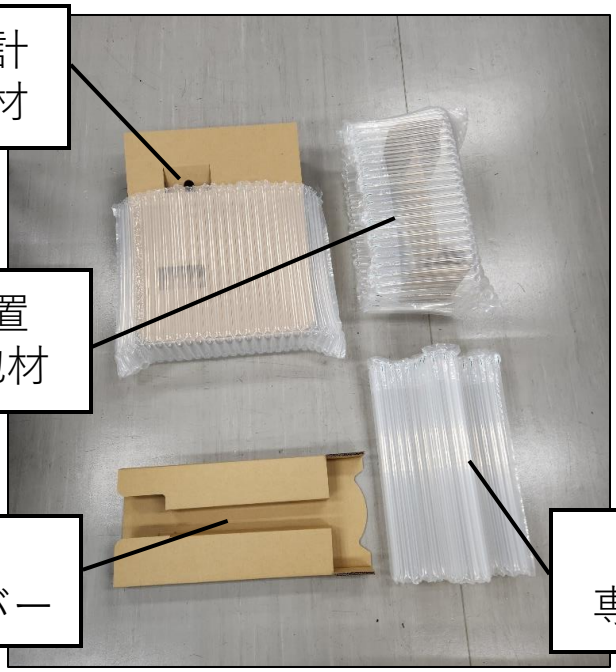
1．返却用ダンボール



機器一式を梱包できる専用の段ボールです。
（L560×W560×H430）

中に機器をそれぞれ収納できる緩衝材が梱包されています。

2．梱包材一式

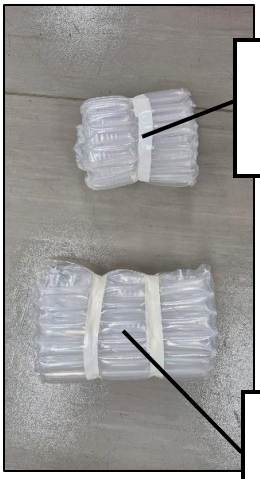


風向風速計
専用梱包材

伝送装置
専用梱包材

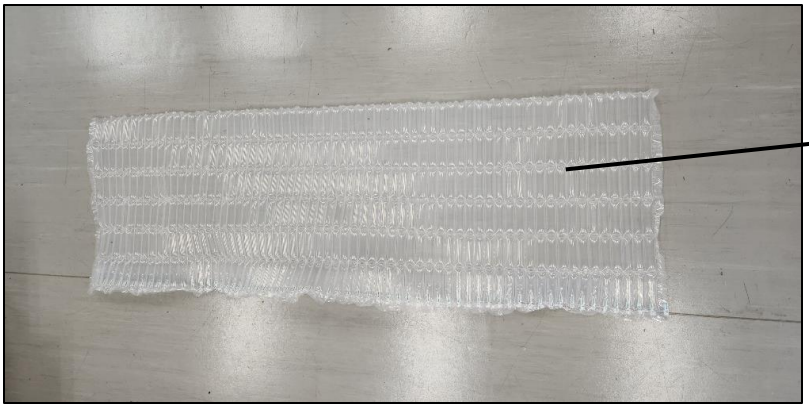
雨量計
ステーカバー

雨量計
専用緩衝材



スペーサー
小

スペーサー
大

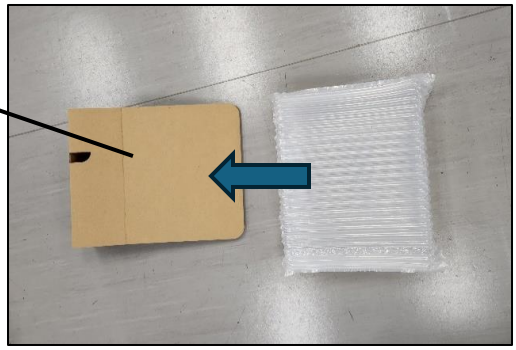


隙間用
緩衝材

梱包手順①風向風速計の梱包方法

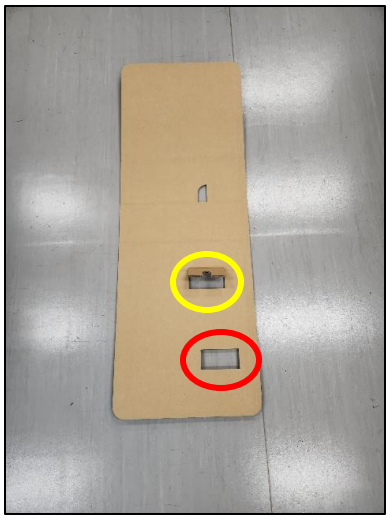
1．以下の梱包材が揃っているかご確認ください。

機器固定用
ダンボール



風向風速計専用の梱包材をご準備ください。
緩衝材の中に機器固定用の段ボールが入っているので取り出してください。

2．固定用ダンボールに風向風速計をはめ込みます。

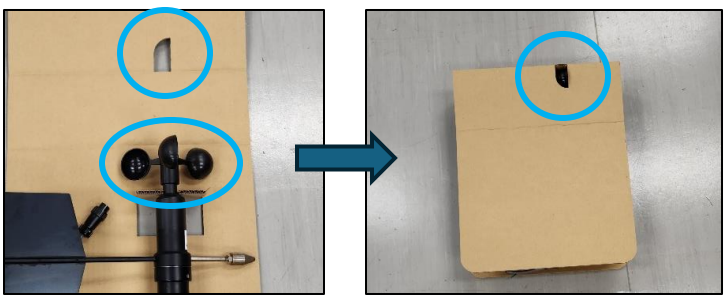




機器固定用のダンボールを広げると3か所の穴があります。
下の大きな四角い穴にクランプをはめ込み、中央の穴にある支えに風向風速計の細い首の部分を乗せてセットしてください。

※ケーブルも付けたままでかまいません。

3．緩衝材に機器を収納します。



風向風速計の風杯が3つ目の穴に丁度入るようにダンボールを折り畳みます。
そのまま緩衝材にスライドさせて収納してください。
※ケーブルが出ないようにご注意ください。

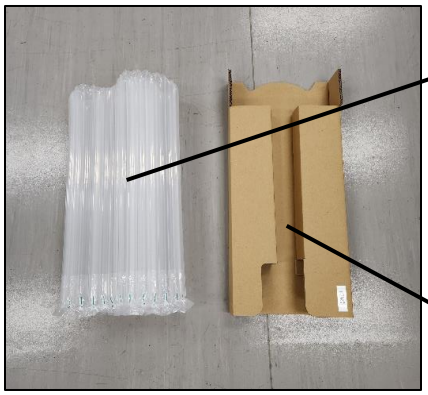


本体の底部に専用ケーブルを奥まで差し込み、ガイドを時計回りに動かしてロックします。

Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.

梱包手順　②雨量計の梱包方法

1．以下の梱包材が揃っているかご確認ください。



雨量計専用
緩衝材

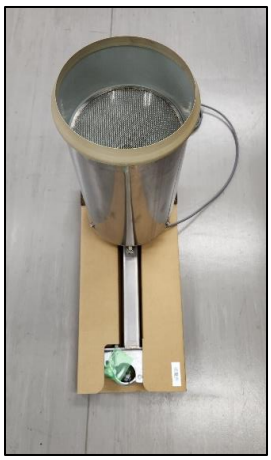
雨量計
ステーカバー

雨量計専用の梱包材をご準備ください。
緩衝材は筒状になっており上下はありません。

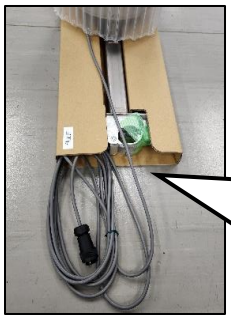
※雨量計のケーブルやステー、クランプはつけたままで構いません。

2．雨量計のステーにカバーを取り付けます。





ステーカバー用のダンボールへ向きに注意して雨量計のステー部分をはめ込んでください。



余ったケーブルは段ボールの中に入れてください

3．緩衝材を雨量計本体に被せます。



雨量計用の緩衝材を準備します。
雨量計本体を緩衝材に差し込むようにいれます。

雨量計の梱包完了です。



Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.

梱包手順　③伝送装置の梱包方法

1．以下の梱包材が揃っているかご確認ください。



伝送装置専用の梱包材をご準備ください。
緩衝材は袋状になっております。

※電源ケーブルは伝送装置から取り外してください。

2．伝送装置のクランプにカバーを取り付けます。





伝送装置の背面にあるクランプへ、段ボールカバーをかぶせて取り付けます。

※クランプは開閉しないようにテープで固定してください。

3．専用の緩衝材に伝送装置を収納します。







伝送装置専用の緩衝材を準備します。
袋状になっているので、伝送装置のクランプ側を上にして緩衝材に入れてください。
電源ケーブルは結束してダンボールの上においてください。

伝送装置の梱包完了です。

Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.

梱包手順　④各機器の収納方法

1．雨量計、Nセンサーを収納します。





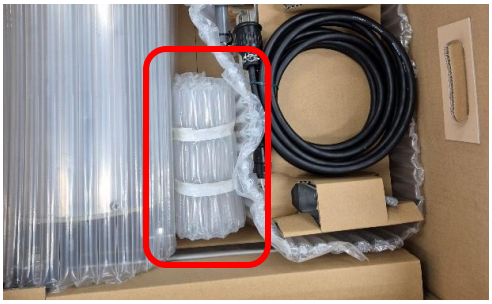
外箱の段ボールを用意します。
取っ手のある面が向かって左右になるように使用します。
まず、雨量計と伝送装置を画像のように収納します。

2．スペーサーを２つ入れます。



スペーサーの大・小をそれぞれ準備します。





スペーサー大を雨量計と伝送装置の隙間に入れます。







スペーサー小を伝送装置、通風筒横の隙間に入れます。それぞれ機器に遊びがないか確認してください。

Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.

2．風向風速計を収納します。





風向風速計を雨量計と伝送装置の上に寝かせて収納します。
1枚残っている隙間用緩衝材を画像上側の面の空いたスペースに半分ほど入れ込み隙間を埋めて、残りは蓋をするように被せます。

3．蓋を閉めて梱包完了です。

これで梱包完了です。

返送の際は、要領書の入っている封筒に同梱されている着払い伝票をご利用ください。
（なければお手数ですが弊社担当の方へご連絡ください）

※機器の破損を防ぐため、運送業者へ「天地無用」「取扱注意」とお伝えください。

この度はご利用いただきありがとうございました。



Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.

梱包・ご返却についてのご案内

返却時は、破損防止のため所定の手順で
ご梱包・ご返却いただいております。

梱包手順については弊社HPにも詳細を記載しておりますので、
以下URLまたは二次元バーコードよりアクセスください。

https://product.sysmet.jp/guide/henkyaku_guide

導入いただき、
ありがとうございます！

ご不明点は気軽にお問い合わせください。

シスメット(株)技術部(093-965-1033)
※対応時間　平日　8:30-17:00

■メール
info@sysmet.co.jp

■webお問い合わせ
https://product.sysmet.jp/contact

Copyright (C) シスメット株式会社. All Rights Reserved.